

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。また、日頃より格別のお引き立てを賜わり誠にありがたく、厚く御礼申しあげます。

さて、平成22年3月期第1四半期の業績をご報告申しあげます。

世界の経済動向は一部に明るい兆しはあるものの、景気の先行きを予測することは困難な状況にあります。当社グループの事業を見渡しましても、本年1-3月の厳しい状況からは脱しつつありますが、まだまだ、本格的な回復と呼ぶには程遠い状況でございます。

こうした状況の下、当第1四半期の業績は、鉄鋼関連事業やアルミ・銅関連事業を中心に販売数量が依然低水準にとどまったことなどから、遺憾ながら前年度の第4四半期に続き損失を計上する結果となりました。また、第2四半期の業績見通しや将来の資金需要などを総合的に勘案し、今年度の中間配当につきましては見送らせていただく方針を決定いたしました。株主の皆様には誠に申し訳なくご迷惑をお掛けいたしますが、早期の黒字化、企業価値の向上に向けて、徹底的な固定費の削減、変動費低減活動の強化、キャッシュフローの拡大など不断の努力を継続し、株主の皆様のご期待に沿えるように努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜わりますよう宜しくお願い申しあげます。



代表取締役社長

佐藤 廣士

平成21年8月

株式に関するお手続きのご案内

当社の株式に関する住所・氏名等の変更、配当金の受取方法の変更、単元未満株式買取・買増請求および相続などのご相談、お手続きは、以下の通りです。

①証券会社にお預けの株式について

お預けの証券会社にお問い合わせください。

②証券会社にお預けされていない株式について

三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

<郵便物および電話でのお問い合わせ先>

〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

Tel0120-094-777 (通話料無料：オペレーターがお伺いいたします)
土日祝日を除く9：00～17：00

※大阪証券代行部は平成21年10月13日より以下に移転の予定です。

〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号

●証券会社にお預けでない株式について

証券会社にお預けでない株式につきましては、そのままでは売買はできませんので、**証券会社の口座へお移しになることをお奨めいたします。**証券会社にお預けでない株式につきましては、「株券電子化」により、三菱UFJ信託銀行株式会社の「特別口座」にて管理しておりますので、**詳しくは、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。**

●単元未満株式(1,000株未満の株式)買取・買増制度について

市場で売買できない単元未満の株式をお持ちの株主様は是非ご利用ください。**お問い合わせは証券会社もしくは三菱UFJ信託銀行株式会社まで。**

単元未満株式の買取制度：市場で売却できない単元未満の株式を当社が市場価格で買い取る制度です。

単元未満株式の買増制度：市場で購入できない単元未満の株式を市場価格で当社より買い増しし、お手持ちの単元未満の株式数を1,000株にすることができる制度です。
(例：100株お持ちの場合、900株を当社から買い増すことができます。)

●株主様工場見学会について

本年6月末にご案内した株主様工場見学会には、募集人数の240名を超える約3,000名の株主様からのご応募をいただきました。募集人数を超えたため、ご案内の通り、抽選とさせていただきます。ご理解を賜わりたく存じます。

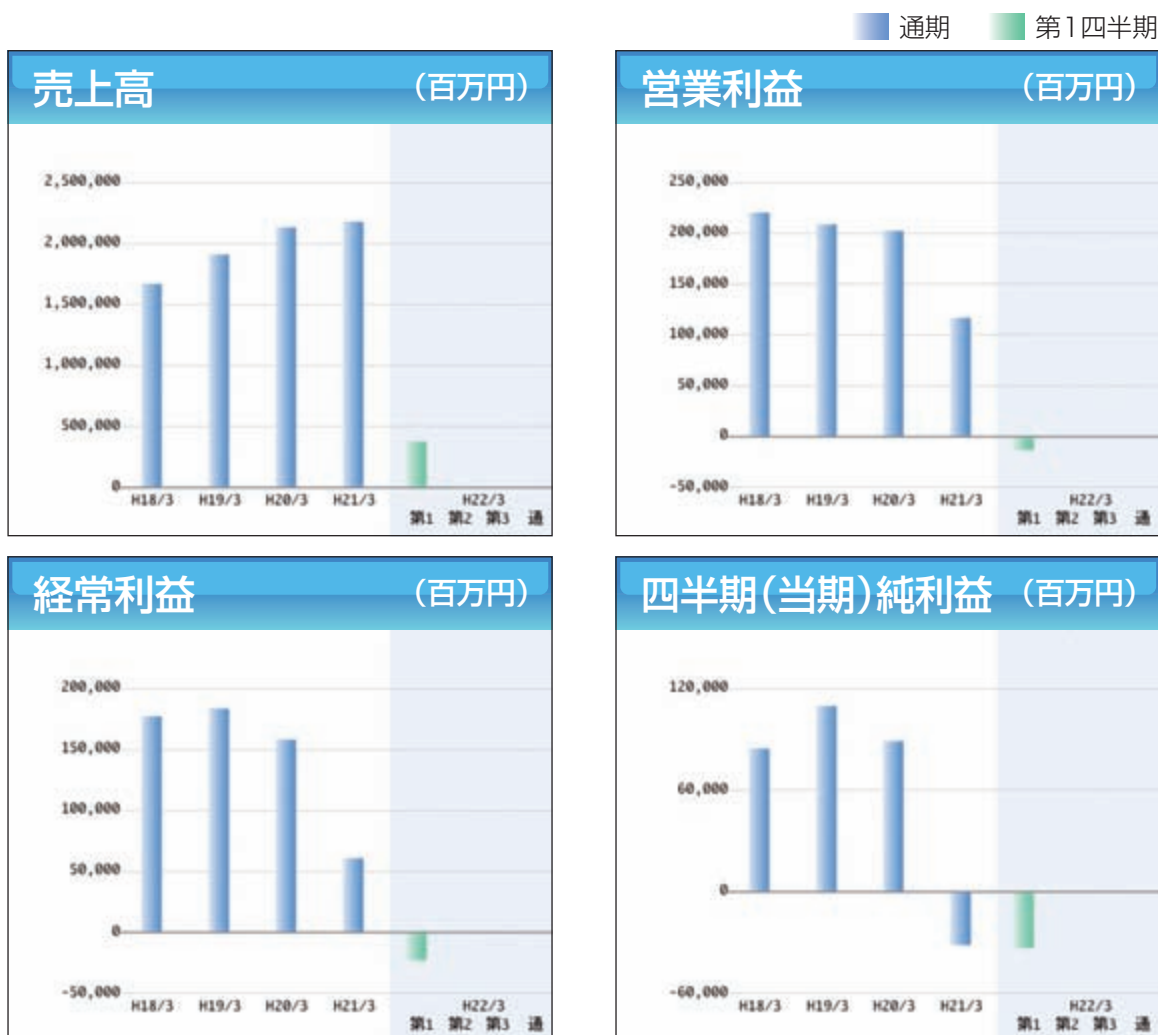
なお、8月末に、当選者の方にはご案内状を、抽選に漏れた方にはその旨のご通知をご送付いたします。

平成22年3月期第1四半期（連結）の概況

経営成績

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、在庫調整の進捗を主因に生産が持ち直すなど、景気悪化に下げ止まりの兆候が見られましたが、依然先行き不透明な状況が続きました。また、海外においても、中国で景気底入れの動きが見られたものの、米国、欧州を中心に全体として、景気の低迷が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、前年度の第4四半期に引続き、当第1四半期においても鉄鋼関連事業の鋼材やアルミ・銅関連事業を中心に、低水準の操業を余儀なくされました。すなわち、総じて堅調な需要に恵まれた前年同期と比較すると、各事業における販売数量が大幅に減少したことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ1,651億円減収の3,778億円となりました。営業損益は、従来以上にコストダウン活動に注力したものの、販売数量の減少による影響が大きく、前年同期に比べ588億円減益の135億円の損失となりました。また経常損益は、前年同期に比べ655億円減益の229億円、四半期純損益は、前年同期に比べ585億円減益の332億円の、それぞれ損失となりました。



売上高



377,884 百万円

営業利益



△13,549 百万円

経常利益



△22,932 百万円

四半期純利益



△33,272 百万円

※矢印は対前年同四半期

事業別売上高情報

事業（セグメント）別の状況は以下のとおりです。

詳細につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」サイト掲載の平成22年3月期第1四半期決算短信をご覧ください。

鉄鋼関連事業



161,098 百万円

建設機械関連事業



59,396 百万円

電力卸供給事業



19,739 百万円

不動産関連事業



10,451 百万円

アルミ・銅関連事業



57,604 百万円

電子材料・その他の事業



8,738 百万円

機械関連事業



71,855 百万円

その他

△11,000 百万円

「その他」はセグメント間の内部売上高等の消去額です。

※矢印は対前年同四半期

|| 平成22年3月期の連結業績予想

平成21年4月1日～平成22年3月31日

(%表示は前期比)

	平成21年4月28日 発表値	平成21年7月30日 発表値	差異
売上高	1,670,000百万円 △23.3%	1,640,000百万円 △24.7%	△30,000百万円
営業利益	5,000百万円 △95.7%	5,000百万円 △95.7%	—
経常利益	△30,000百万円 —	△30,000百万円 —	—
当期純利益	△55,000百万円 —	△45,000百万円 —	10,000百万円
1株当たり当期純利益	△18円31銭	△14円98銭	3円33銭

上記の連結業績予想は、それぞれの発表日における予想数値です。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

|| 配当状況

	1株あたり配当金 (円)			配当金総額 (年間) (百万円)	配当性向 (年間) (%)	純資産 配当率 (年間) (%)
	中間期末	期末	年間計			
平成22年3月期	0.0	未定	未定	—	—	—
平成21年3月期	3.5	0.0	3.5	10,525	—	1.9
平成20年3月期	3.5	3.5	7.0	21,053	23.6	3.6
平成19年3月期	3.0	4.0	7.0	21,541	19.8	3.8
平成18年3月期	0.0	6.0	6.0	18,673	21.5	4.0

※平成21年3月期の配当性向については、平成21年3月期末の当期純損益が損失となったため、「—」と表記しております。

※平成22年3月期の中間配当については、第2四半期の業績見通しや将来の資金需要などを総合的に勘案し、見送らせていただく方針を決定いたしております。